

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「伊勢物語」 筒井筒「問題②

風^①吹^①けば沖つ白波たつた山夜半にや君がひとり^②越^②ゆ^②ア^②ら^②む

と^③詠^③み^③イ^③ける^③を^④聞^④きて、限りなくなしと^⑤思^⑤ひて、河内へも^⑥行^⑥か^⑥ウ^⑥ず^⑦なり^⑦エ^⑦に^⑦オ^⑦けり。

まれまれの高安に^⑧来^⑧て^⑨み^⑨れば、初めこそ心にくくも^⑩つくり^⑩カ^⑩け^⑩れ、今は^⑪う^⑪ち^⑪と^⑪けて、

手づから飯匙^⑫取^⑫りて、笥子のうつはものに^⑬盛^⑬り^⑬キ^⑬ける^⑬を^⑭見^⑭て、^⑮心^⑮憂^⑮がりて^⑯行^⑯か^⑯ク^⑯ず^⑰なり

ケ^⑰に^⑰コ^⑰けり。^⑱さ^⑱り^⑱サ^⑱け^⑱れば、かの女、大和の方を^⑲見^⑲や^⑲りて、

君があたり^⑳見^㉑つつを^㉒居^㉒ラ^㉒シ^㉒む^㉒生駒山雲な^㉓隠^㉓しそ雨は^㉔降^㉔るとも

と^㉕言^㉕ひて^㉖見^㉖出^㉖だすに、からうじて、大和人、「^㉗来^㉗ス^㉗む。」と^㉘言^㉘へ^㉘セ^㉘り。^㉙喜^㉙びて^㉚待^㉚つに、

たびたび^㉛過^㉛ぎ^㉛ッ^㉛ぬ^㉛れば、

君^㉜来^㉜タ^㉜むと^㉝言^㉝ひ^㉝チ^㉝し夜ごとに^㉞過^㉞ぎ^㉞ッ^㉞ぬ^㉞れば^㉟頼^㉟ま^㉟テ^㉟ぬ^㉟ものの^㊱恋^㊱ひ^㊱つつぞ^㊲経^㊲る

と^㊳言^㊳ひ^㊳ト^㊳けれど、男^㊴住^㊴ま^㊴ナ^㊴ず^㊵なり^㊵ニ^㊵に^㊵ヌ^㊵けり。

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「伊勢物語　筒井筒」 解答②

カ四㊦

風^①吹けば沖つ白波たつた山夜半にや君がひとり^②越ゆ^アらむ

ヤ下二終 現在推量

マ四㊦

過去

カ四㊦

ハ四㊦

ラ四㊦

打消

ラ四㊦

完了過去

と^③詠み^イけるを^④聞きて、限り^ナかなしと^⑤思ひて、河内へも^⑥行か^ウず^⑦なり^エに^オけり。

カ変㊦

マ上二㊦

ラ四㊦

過去

カ下二㊦

まれまれの高安に^⑧来て^⑨みれば、初めこそ心にくくも^⑩つくり^カけれ、今は^⑪うちとけて、

ラ四㊦

ラ四㊦

過去

マ上二㊦

ラ四㊦

カ四㊦

打消

ラ四㊦

手づから飯匙^⑫取りて、笥子のうつはものに^⑬盛り^キけるを^⑭見て、^⑮心憂がりて^⑯行か^クず^⑰なり

完了 過去

ラ変㊦

過去

ラ四㊦

ケに^コけり。^⑱さり^サければ、かの女、大和の方を^⑲見やりて、

マ上二㊦

ラ変㊦

意志

サ四㊦

ラ四終

君があたり^⑳見つつを^㉑居ら^シむ生駒山雲な^㉒隠しそ雨は^㉓降るとも

ハ四㊦

サ四㊦

カ変㊦

意志

ハ四㊦

バ四㊦

タ四㊦

と^㉔言ひて^㉕見出だすに、からうじて、大和人、「来^㉖スむ。」と^㉗言へ^セり。^㉘喜びて^㉙待つに、

ガ上二㊦ 完了

たびたび^㉚過ぎ^ッぬれば、

カ変㊦

意志

ハ四㊦

過去

ガ上二㊦

完了

マ四㊦

打消

ハ上二㊦

ハ下二㊦

君^㉛来^タむと^㉜言ひ^チし夜ごとに^㉝過ぎ^ッぬれば^㉞頼ま^テぬものの^㉟恋ひつつぞ^㊱経る

ハ四㊦

過去

マ四㊦

打消

ラ四㊦

完了 過去

と^㊲言ひ^トけれど、男^㊳住ま^ナず^㊴なり^ニに^ヌけり。